

J R サービック労働組合  
**ジャストニュース**



No. 9 8  
2 0 2 5 年 1 2 月 1 2 日  
J R サービック労働組合  
発行責任者 柳楽 関

## スロープからの転落事故が発生！

### 再発防止で緊急申し入れ！

1 2 月 5 日、J R 東海京都駅において、車椅子旅客の付添者が列車とホーム間に転落するという事象が発生しました。この事象は、N 7 0 0 S 編成 4 号車で、車椅子旅客が介助スタッフにより降車した後に、ズレたスロープにより転落事故が発生したもので

す。

### 事故原因はスロープの不具合・欠陥？！

このスロープに関する問題は、2 0 2 0 年 6 月に N 7 0 0 S に対応できる新型車椅子用スロープが新幹線各駅に配備されたことからはじめます。この新型スロープは配備された当初から、スロープとホームに接する部分に角度が発生するため、乗車時に車椅子の車輪が引っ掛け前後に転倒することが指摘されていました。

2 0 2 1 年 1 1 月になり、ホーム先端部の角度が改善された改良型スロープが配備されたものの、車内と接する部分のフックが浅いため、乗降の際にスロープにズレが発生する事象が発生していました。そして、2 0 2 3 年 5 月には、危惧されていた車椅子の転倒事故が発生しました。また、J R 東海によると2 0 2 5 年 3 月 2 1 日、浜松駅、8 月 6 日、熱海駅で停車中に車椅子乗客の対応をしていたところ乗降用スロープがホームから落下する事象が発生しており、いずれもその原因は、スロープの不具合・欠陥によるものと思われます。

### 年末年始輸送を無事故で完遂しよう！

この一連の事象は傷害事故として留まっていますが、死亡事故に繋がる可能性は否定できません。人命に関わる事象として、早急に原因究明と再発防止の対策が必要です。

J S 労は1 2 月 8 日、下記の内容で申し入れを行いました。これから年末年始輸送の本番を迎えます。旅客の安全と社員を守るために会社と議論して行きます。

#### 申し入れ内容

1. 負傷事故の詳細を明らかにすること。
2. 事故原因、及び再発防止対策を具体的に明らかにすること。
3. 年末年始輸送開始前までに団体交渉を開催すること。